



## ごあいさつ

平素より愛知信用金庫に格別のご愛顧ご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も、私ども「あいしん」についてのご理解をより一層深めていただきますよう「AISHIN REPORT 2009」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

さて、わが国経済は平成20年度前半にわたり、戦後最長の景気拡大期間を更新し、大企業を中心に回復傾向が続いていましたが、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、平成20年9月のリーマン・ブラザーズ社の破綻等を契機に、世界的な金融市場の影響により実体経済に急速に波及し、地域経済や中小企業においても景気減速が鮮明になってきており、不況色を一段と強めております。

信用金庫業界をとりまく経営環境は、「ゆうちょ銀行」の業務拡大や異業種による金融業への参入などに伴い、競争環境は一段と熾烈化する状況下にあるほか、地域密着型金融に対する信用金庫への期待の高まりや、地球温暖化が叫ばれる中、環境について大きな問題となっており、地球温暖化防止への取組みを含め、我々を取り巻く環境は益々厳しさを増してきております。

当地区に於いては、自動車産業を中心に製造業が好調に推移し、特に工作機械・電子部品関連が順調な業績を上げておりましたが、米国のサブプライムローン問題から始まった金融危機が世界同時不況に発展してきており、当金庫の主要顧客である中小、零細企業においても売上が大幅に減少し、資金繰りを含め厳しい状況が続いており、当金庫の事業再生・中小企業金融の円滑化の取組みとして、政府の緊急経済対策を踏まえ、資金繰り支援等、中小企業金融円滑化に最大限注力し、営業店と審査部「企業支援室」による債権の健全化に向けた取組みを推進してまいりました。

また、全職員の資質の向上と個々の能力開発など、総合力を発揮し、地域密着型金融機関として業務運営をする必要があり、PDCAサイクルの確立をより充実し、新規融資先開拓の強化と融資量の増加、経営の健全性向上と収益力の強化、人材育成と成果重視の人事制度等を業務運営方針として推進してまいりました。

今後とも皆様方の暖かいご支援に支えられ、当金庫は地元根ざした地域金融機関として引き続き健全経営に徹し、信頼される信用金庫として強靱な経営体質の確立に努力してまいります。

平成21年度も我々金融機関をとりまく環境は、依然として厳しい状況下ではありますが、第一目標たる「守り」から「攻め」への戦略を強力に推し進め、収益力の強化及び融資量の増加と増大する各種リスクに対するリスク管理を徹底し、強固な経営基盤の確立と中小企業金融円滑化に注力し、中小企業の再生・支援を進め、地域に信頼される信用金庫を目指し役職員一丸となって邁進してまいります。

今後とも一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成21年7月 理事長

山田直己

## 当金庫の概要

設 立	昭和26年1月
本 店 所 在 地	名古屋市中区錦3-15-25
店 舗 数	22店舗(うち出張所1)
常 勤 役 職 員 数	263名
預 金	2,172億円
貸 出 金	712億円
純 資 産	111億円
会 員 数	13,134名
普 通 出 資 金	416百万円

## Contents

自己資本について	3	金庫の概要	18
事業の概況	5	総代について	19
不良債権の状況について	7	商品・サービスのご案内	21
コンプライアンスについて	9	資料編	24
リスク管理への取り組み	10	連結状況	44
あいしんと地域社会	11	営業地区のご案内	50
お客様アンケート調査について	15	店舗のご案内	51
キャッシュカードご利用について	16	沿革	53
環境への取り組み	17	開示項目一覧	54